



H29.1/23
部落解放人権政策確立要求愛知郡
実行委員会
現地(神戸市)研修会(議長・同対委員長)



H29.1/27
第26回愛荘町ふるさと体験塾開校式
(議長):びん細工手まりの館



H29.2/13
滋賀県議長会第40回広報研修会
(議長・広報委員):彦根市



H29.3/14 愛知・秦荘中学校卒業式
3/16 愛知川・秦荘幼稚園卒園式
3/17 4小学校卒業式
3/24 つくし保育園卒園式



H29.2/28
滋賀県町村議会議長会定期総会
(議長・副議長・河村議員):大津市

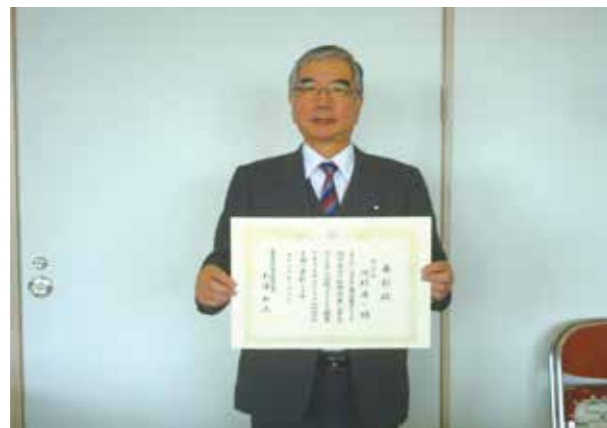
議会活動 日誌



H29.4/4
教職員着任式
(議長・教民委員長)



H29.4/5 つくし保育園入園式
4/10 4小学校入学式
4/10 愛知・秦荘中学校入学式
4/11 愛知川・秦荘幼稚園入園式



平成29年2月28日滋賀県町村議会
議長会より自治功労者(11年以上の
在職者)として愛荘町議会議員の河
村善一氏が表彰された。

3月定例会

意見書第1号

可決

お腹の赤ちゃんを大切にするため

7月13日を「生命尊重の日」と

制定することを求める意見書

すべての人生は例外なくお腹のなかの胎児期から始まります。最新の赤ちゃん学が明らかになっているようにお腹の赤ちゃんも私たちと同じ一人の人間です。一方、人工妊娠中絶によって、届け出だけで年間176,000人、毎日500人のお腹の赤ちゃんのいのちが失われているという現実もあります。

私たちは、こうした悲しい現実を少しでも少なくし、妊娠、出産、子育てに希望をもつことができ、安心して赤ちゃんを産み育てられる社会になることを願って、さまざまな活動を行って参りました。しかし残念ながら、乳幼児虐待、障害者殺害など小さいのち、弱いいのちが失われる悲しい事件が後を絶ちません。いのちが軽んじられている現代、どうすればいのちの大切さを取り戻す

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成29年3月23日

衆議院議長 大島 理森 殿
参議院議長 伊達 忠一 殿
内閣総理大臣 安倍 晋三 殿
厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿
内閣府特命担当大臣(少子化対策担当) 加藤 勝信 殿

滋賀県 愛荘町議会

ことができるのでしょうか。

「いのちの始まりを大切にしないと、生れてからのいのちも大切にできなくなる」と言われますが、「いのちの始まり」であるお腹の赤ちゃんに思いを寄せる「シンボルの日」が設定され、全国民がお腹の中の小さいのちの大切さを確かめ合う一日とすることができれば、いのちの大切さを取り戻す大きな第一歩となるのではないかと考えます。芽生えた時からすべてのいのちを「おめでとう」と温かく迎え、「生まれてくれてありがとう」「産んでくれてありがとう」と命の始まりに感謝し、お腹の赤ちゃんとお母さんを温かく迎える「シンボルの日」として、国に7月13日を「生命尊重の日」と制定することを求めます。

議長・副議長 再任



議長 外川 善正



副議長 瀧 すみ江

3月定例会最終日(29.3.23)、全ての議事が終了した後、「議長・副議長の任期は1年とする」という申し合わせにより辞職願が提出され、後任の選挙が行われた。その結果「議長に外川善正氏・副議長に瀧すみ江氏」が再任された。

なお、その他の3常任委員会、予算決算・同和対策特別委員会、議会運営委員会等については任期が2年と定められていることから28年度と同様である。